

まことの道【弥生】三月

「仰げば尊し」
あお とうと

仰げば尊し 我が師の恩

教おしえの庭にも はや幾年いくとせ

思えばいと疾としこの年月

今こそ別れめ いざさらば



神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

家庭祭祀のおすすめ

人生の節目には氏神さまへ感謝の気持ちを捧げ、ご奉告に参拝しましょう。



●初宮詣

男児は生後三十一日目、女児は三十三日目に氏神さまへ参拝し、安産の御礼と子供の健やかな成長を祈願します。

●七五三祝

三歳を髪置(男女)、五歳を袴着(男)、七歳を帯解(女)のお祝いとして、氏神さまへ参拝します。

●安産祈願

妊娠五ヶ月目に安産を願い戌の日に氏神さまへ参拝します。

●歳祝い

六十一歳の還暦、七十歳の古稀、七十七歳の喜寿、八十歳の傘寿、八十八歳の米寿、九十歳の卒寿、九十九歳の白寿、長寿を祝い、家族親族が寄り集い、氏神さまへ参拝して日頃の感謝と、ますますの健康、長寿を祈願します。



神奈川県
神社庁
ウェブサイト

安産祈願と初宮参り

妊娠や子どもが無事に生まれ丈夫に育つことを願う、出産や育児に関わるさまざまな人生儀礼があります。

地域により相違はありますが、妊娠五ヶ月目の戌の日には、帯祝いと称して妊婦のお腹に木綿の布で作られた腹帯(岩田帯)を巻きます。これを戌の日におこなうのは、犬が多産でお産が軽いことにあやかるためです。帯祝いをするとともに、神社での安産祈願をされるといいでしょう。

初宮参りは、誕生後初めて氏神様にお参りすることで、無事に誕生させていただいたことへ感謝し、今後の健やかな成長を願います。

初宮参りの時期については、男子は三十一日目、女子は三十三日目頃にお参りするのが一般的です。これは母子の産屋明けの期日であるといわれています。しかし、地方によつては、早いところで七日目、遅い所で百日を過ぎるところもあり、必ずしも一様ではありません。現在では特に厳密でなく、各地方で伝えられた期日後の良き日を選んでお参りする方が多いようです。

神奈川県神社庁

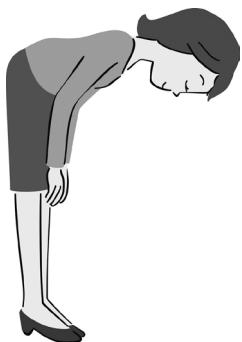
〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

〈拝礼の作法〉

二拝二拍手一拝で
お参りしましょう。

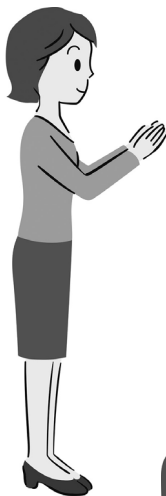


①

まず二回深く
頭を下げます。

②

二拝したあと、
胸の前で両手を合わせ、
右手を少し下にずらして
二回手を打ちます。
二拍手のあと、
両手の指先を揃えて、
祈りをこめます。



③

最後にもう一回深く
頭を下げます。

